

## 日ラオス共同声明(骨子)

### 1 総論

- ・両国間関係を「包括的パートナーシップ」から「戦略的パートナーシップ」に格上げすることを決定

### 2 政治・安全保障

- ・戦後70年を迎え、日本の平和国家としての地域・国際社会への貢献を賞賛
- ・国際協調主義に基づく「積極的平和主義」を支持
- ・自由、民主主義、法の支配、基本的人権の尊重といった普遍的価値を促進

### 3 経済協力

- ・人間中心の投資を通じた「質の高い成長」のためのインフラ開発
- ・青年海外協力隊50周年(ラオスは最初の受入国)を踏まえ、顔の見える支援を継続

### 4 貿易・投資

- ・両国間の貿易・投資を促進
- ・官民合同対話等を通じ、投資環境を改善
- ・高効率石炭火力発電を将来における協力が見込まれる選択肢と認識

### 5 人的・文化交流

- ・日・ラオス航空協定署名(本年1月)を歓迎
- ・ラオスの公用旅券保持者に対する査証免除
- ・ラオス・フアパン県への桜(約300本)の植樹、京都市動物園への象(4頭)の寄贈

### 6 地域・国際社会における協力

- ・2016年ASEAN議長国であるラオスとの連携
- ・テロとの闘い(日本人人質の殺害を含むあらゆる形態のテロに対して、断固たる非難を表明)
- ・海洋秩序(公海における航行及び上空飛行の自由、国際法に則った紛争の平和的解決及び自制、海上航行の自由と安全を確保することに資する実効的な規範の重要性を確認)
- ・朝鮮半島(非核化を求め、拉致問題を含む人道上の懸念に対処することの重要性を強調)
- ・国連安保理改革へ向けた協力(日本の安保理常任理事国入りへの支持)
- ・国際捕鯨委員会(IWC)における協力(日本に対する支持)
- ・国連防災世界会議(3月)、日メコン首脳会議(7月)での協力